

Q 薬物依存は治るの？

A 依存症になってしまった脳は元の状態に戻らないと考えられています。

しかし、きちんと支援を受けて薬物を止め続ければ、多くの場合通常の社会生活を取り戻すことが可能です。

つまり、**回復可能な病気**なのです。

Q 家族は何をすればいいの？

A ご本人の薬物依存のことで、家族はとても不安な日々を過ごし、時には病気の悪循環に巻き込まれるかもしれません。

家族の関わりは、本人の回復に何らかの影響を及ぼします。家族自身が相談機関と繋がり、依存症についての**知識や対応を学び、家族自身の生活を大切にすることが**本人の回復にとって、とても重要です。



M A P



●交通機関

○路線バスを利用される方

富山駅前バス⑤番乗り場 笹津方面
最勝寺バス停で下車（徒歩10分）

○高速道路を利用される方

富山インターチェンジから、国道41号を700m程南下
（大沢野方面）し、蛭川交差点で右折

富山県依存症相談支援センター

富山市 蛭川 459-1（富山県心の健康センター内）

TEL：076-461-3957

FAX：076-428-1510

薬物の問題で お困りのあなたへ



ひとりで悩まずに
相談ませんか
まずはお電話を

 富山県依存症相談支援センター
（富山県心の健康センター内）

TEL：076-461-3957

薬物依存からの回復のために

Q なぜ覚せい剤等の薬物は止められないの？

A 皆さんは、「いつでも薬物を止められる」と思っていませんか？ しかし、いつの間にか量が増え、生活に支障が出ていませんか？

薬物はあなた自身の力では使用をコントロールできなくなる「**依存性の物質**」です。薬物依存は、離脱症状（従来は禁断症状と言っていました）の痛みも伴い、自分自身で止めたくても止められなくなる「**病気**」なのです。

Q 薬物依存になるとどうなるの？

A 薬物を使用すると、落ち込んでいた気分が少しの間、楽になった感じがするかもしれませんが、多くの場合、「誰かが悪口を言っている」「誰かにつけられている」などの**幻聴**や**妄想**などの精神症状が現れ、不安な日々を送ることになります。

その他、**不眠症**や**うつ状態**を悪化させ、**自殺の危険性**も高まります。

相談機関

富山県依存症相談支援センター

- 連絡先 TEL 076-461-3957
- 受付日時 月～金（祝日休）
8:30～12:00 / 13:00～17:00
- 支援内容
- 電話相談（随時）
 - 来所相談（予約制）
（家族のみの相談もお受けします）
 - 本人の回復プログラム
 - 家族教室
（詳細については、お問い合わせください）

【NPO 法人 富山ダルクリカバリークルーズ】

- 連絡先 TEL 076-407-5777
- URL <http://toyama-darc.jimdo.com/>
- 受付日時 毎日 基本 24 時間
- 支援内容
- 電話相談（随時）
 - 来所相談（予約制）
 - 本人の入所、通所、回復プログラム活動
 - 自助グループ（本人、家族）
 - 家族教室



自助グループ

エヌエー【NA(本人のグループ)】

- 対象者 薬物の問題でお悩みの本人
- 連絡先 富山ダルク内セレニティグループ
TEL 076-407-5777
- 内容 本人が集まり、話し合う場です



家族教室 ハープ (HARP と共催)

- 対象者 薬物の問題でお悩みの家族、友人、関係者
- 連絡先 ● 富山ダルク TEL 076-407-5777
TEL 090-9246-0802
- HARP (北陸アディクションリカバリーパートナーズ)
MAIL harp2020kanazawa@gmail.com
- 開催場所 富山ダルク内会議室
- 開催日 偶数月第3木曜日 18:30～20:45
- 支援内容 家族や友人、関係者が集まり、思いを語り、依存症について学ぶ場です